

2022年 私大一般選抜 志願者数は 大幅減からの反動なく前年並！

2年間で半減した大学も。総合型・学校推薦型での入学者の割合は増！

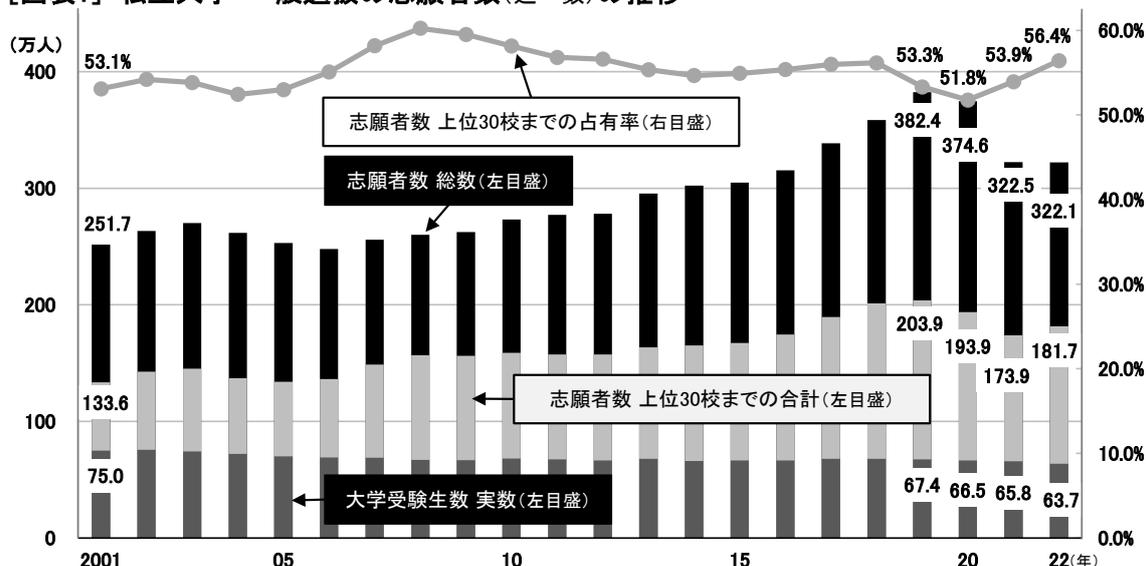
旺文社 教育情報センター 2022年9月30日

私立大学一般選抜の志願者数が減少傾向だ。今春の入試では、対前年で大幅ダウンした2021年からの反動は見られず、志願者数は前年並。受験生数減少、総合型・学校推薦型選抜の拡大などが要因に挙げられる。 ※一般選抜＝大学独自入試と共通テスト利用入試(過年度はセンター試験利用入試)。

■2019年をピークに、志願者数はダウン傾向に

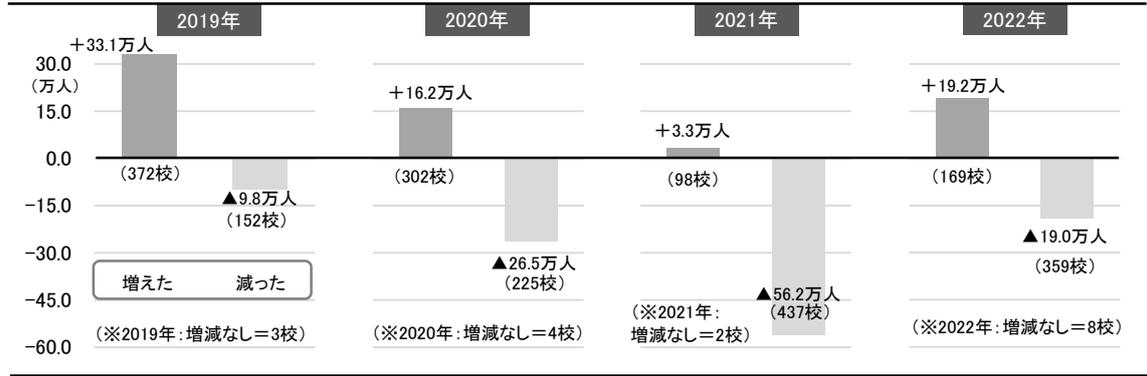
図表1に示した通り、私立大学一般選抜の志願者数(延べ数)は2007年以降、2019年まで増加の一途を辿った。入試日程の多様化、受験料割引制度の拡充、学部・学科の増設などが、受験生の安全志向と相まって併願増につながっていった。2016年からの定員管理の厳格化による合格者絞り込みも、併願増をあと押しした。こうした流れが2020年入試で変わる。14年ぶりに志願者数は2%ダウン。翌年に入試改革を控え、受験生が超安全志向に。指定校制推薦に受験生が流れるなど、大規模校を中心に志願者を減らした。2021年は入試改革元年。そこにコロナ禍。志願者数は大幅ダウン。地元志向・安全志向、併願校数の絞り込みなどが積み重なった。2022年は、ほぼ前年並の志願者数だった。「志願者減、合格者増」で易化した前年の結果や、社会のコロナ対応が進んだことなどから都市部の大規模校への志願回帰もあったが、全体としては受験生数の減少、総合型・学校推薦型選抜の拡大などにより、前年からの反動は見られなかった。

【図表1】私立大学 一般選抜の志願者数(延べ数)の推移



※志願者数：旺文社調査(7月末)による判明分。受験生数：「学校基本調査」(文部科学省)より算出(高認[大検]合格者を除く)。2022年は旺文社推定値。

[図表2] 私立大学 一般選抜志願者数 前年より「増えた・減った」大学数と、その増減人数



入学定員の規模別に見ると……



2022年				入学定員			志願者数の合計		
4,000人以上	2021年	2022年	前年差	1,000人~2,000人未満	2021年	2022年	前年差		
増えた[13校]	858,944	939,549	▲80,605	増えた[22校]	334,270	385,822	51,552		
減った[7校]	454,585	429,206	▲25,379	減った[59校]	498,787	433,598	▲65,189		
2,000人~4,000人未満	2021年	2022年	前年差	1,000人未満	2021年	2022年	前年差		
増えた[8校]	172,455	188,528	16,073	増えた[126校]	187,918	231,412	43,494		
減った[19校]	394,607	355,735	▲38,872	減った[274校]	313,704	253,354	▲60,350		
				増減なし[8校]	1,346	1,346	0		
2021年				入学定員			志願者数の合計		
4,000人以上	2020年	2021年	前年差	1,000人~2,000人未満	2020年	2021年	前年差		
増えた[3校]	147,798	155,471	7,673	増えた[7校]	162,806	174,527	11,721		
減った[17校]	1,330,443	1,158,058	▲172,385	減った[74校]	815,921	657,479	▲158,442		
2,000人~4,000人未満	2020年	2021年	前年差	1,000人未満	2020年	2021年	前年差		
増えた[3校]	71,913	73,280	1,367	増えた[85校]	78,315	90,844	12,529		
減った[24校]	594,079	493,782	▲100,297	減った[322校]	538,369	407,003	▲131,366		
				増減なし[2校]	1,596	1,596	0		
2020年				入学定員			志願者数の合計		
4,000人以上	2019年	2020年	前年差	1,000人~2,000人未満	2019年	2020年	前年差		
増えた[5校]	316,101	344,446	28,345	増えた[35校]	384,345	431,111	46,766		
減った[15校]	1,237,017	1,133,795	▲103,222	減った[46校]	610,895	538,976	▲71,919		
				増減なし[1校]	5,849	5,849	0		
2,000人~4,000人未満	2019年	2020年	前年差	1,000人未満	2019年	2020年	前年差		
増えた[10校]	215,143	235,231	20,088	増えた[252校]	305,580	371,988	66,408		
減った[16校]	465,566	409,711	▲55,855	減った[148校]	279,147	244,661	▲34,486		
				増減なし[3校]	427	427	0		
2019年				入学定員			志願者数の合計		
4,000人以上	2018年	2019年	前年差	1,000人~2,000人未満	2018年	2019年	前年差		
増えた[9校]	560,832	601,203	40,371	増えた[69校]	777,495	916,322	138,827		
減った[11校]	1,008,553	951,915	▲56,638	減った[11校]	117,440	110,234	▲7,206		
				増減なし[1校]	10,114	10,114	0		
2,000人~4,000人未満	2018年	2019年	前年差	1,000人未満	2018年	2019年	前年差		
増えた[14校]	344,043	407,339	63,296	増えた[280校]	344,343	432,498	88,155		
減った[10校]	237,244	223,086	▲14,158	減った[120校]	177,868	157,849	▲20,019		
				増減なし[2校]	117	117	0		

※志願者数:延べ数。旺文社調査(7月末)による判明分。各年とも、当年と前年の志願者数が判明した比較可能な大学の数値の集計(2022年536大学、2021年537大学、2020年531大学、2019年527大学)。例:2022年は536大学が、当年と前年の志願者数が比較可能。

■大規模大学で志願者増の動き

前ページの図表2のグラフは、志願者数が「当年・前年とも」に判明した大学の志願者数の増減を集計したものだ。

2019年は、「当年・前年とも」に志願者数が判明した527校のうち、372校が2018年より志願者が増加、その合計は33.1万人。志願者が減少したのは152校で、その合計は9.8万人。同様に2020年～2022年を見ると、2021年の増減の対照、減少の大きさが目をひく。2022年は、減少した大学がほとんどだった2021年に対して、169校で合計19.2万人の志願者増の一方、359校が志願者を減らした。

図示はしていないが、2020年の志願者2,000人以上の222校のうち、2022年の志願者が2020年と比べて70%未満となった大学は76校、50%未満となった大学が25校と、入試改革とコロナ禍を経て、2年間で志願者が大幅減になった大学も見られる。

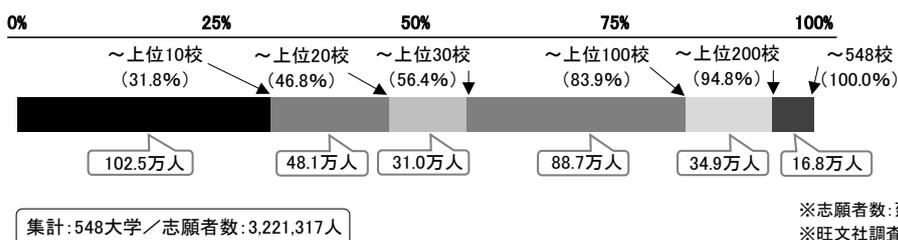
図表2の下部では、各年の増減について、大学の入学定員の規模別に示した。2019年は入学定員4,000人以上の大規模大学では志願者の増減の差し引きはマイナスだが、入学定員4,000人未満ではプラス。入試改革前年の2020年は、大中規模の大学で減少が見られる一方、1,000人未満では増加が多い。規模の大きな大学から、小規模の大学に志願者が動いた様子が見られる。2021年は一転、入学定員の規模に関わらず、志願者が減少した。集計対象となった537大学の8割を超える、437校が前年より志願者を減らした。2022年は対照的に、中小規模大学での志願者減が見られる一方、入学定員4,000人以上の大規模大学では半数以上が志願者を増やしている。

■志願者数の多い上位30校で総数の半数超を占め、上位100校の占有率は8割に達する。

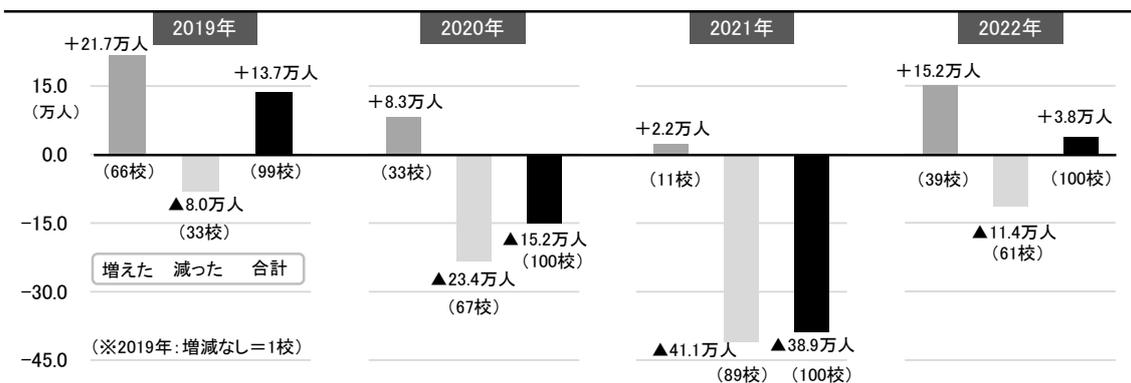
エリア別での志願者占有率は三大都市圏が9割弱を占める

図表3は、2022年一般選抜志願者の総数に対して、志願者数の多い上位大学の占有率を示したものだ。志願者数の多い上位10校で総数の3割超を占め、上位30校で半数を超えている。上位100校までで見ると8割超までを占めるに至る。集計した548大学のうち、志願者数の上位200校までで、総数322.1万人のうちおよそ95%に達し、残る348校の志願者合計が16.8万人という状況だ。なお、1ページの図表1には、上位30校の占有率の推移を示した。2021年、2022年と全体の志願者数減のなか、占有率は上昇している。

[図表3] 2022年 私立大学 一般選抜の志願者数に占める志願者数の上位校による割合

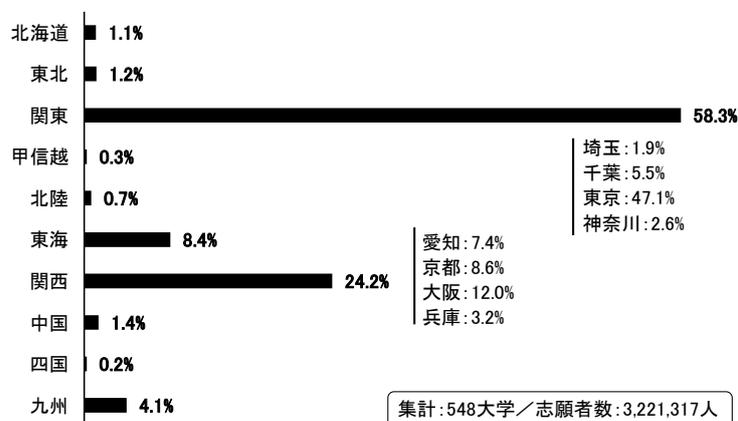


【図表4】 私立大学 一般選抜の志願者数 上位100校の翌年の増減(校数、人数の計)



※志願者数: 延べ数。旺文社調査(7月末)による判明分。
 ※例: 2022年が示す数値は、2021年の志願者数上位100校が、2022年に志願者が増えたか減ったかを追跡、その増減した校数と人数の計。

【図表5】
 2022年 私立大学 一般選抜
 志願者数に占める
 エリア別の割合



※志願者数: 延べ数。旺文社調査(7月末)による判明分。
 ※エリアは大学の本部所在地で分類。

図表4は、前年の志願者数が上位100に入った大学の、翌年の志願者数の増減を集計したものだ。2021年は、2020年の志願者数上位100校のうち、志願者増となったのはわずか11校に留まり、89校で合計41.1万人の志願者減となっていた。

2022年は、2021年の志願者数上位100校のうち、志願者が増えた大学、減った大学に二分された状況が見て取れる。

図表5では、エリア別の志願者数の占有率を示した。関東を筆頭に、関西、東海の高さが一目瞭然であるとともに、東京だけで47.1%という高い率であることが目につく(ちなみに、全私立大学のうち東京所在大学の占有率は2割弱)。三大都市圏(埼玉・千葉・東京・神奈川・愛知・京都・大阪・兵庫)の占有率合計は88.3%に達している(三大都市圏の占有率は2021年88.1%、2020年88.5%、2019年89.7%という推移)。

■総合型選抜・学校推薦型選抜での入学者の割合は継続してアップ!

次ページの図表6は、私立大学の入試方式別の入学者数の割合を示したものだ。総合型選抜と学校推薦型選抜での入学者の割合が年々上昇。一般選抜での入学者の割合が低下している。

【図表6】私立大学 入試方式別の入学者の割合の推移

	1年次 入学者数(人) ※有効回答 集計分	入試方式別 入学者の割合						
		一般選抜	総合型選抜 +公募制推薦	(総合型 選抜)	(公募制 推薦)	指定校制 推薦	付属校・系列校 推薦	その他
2015年	398,793	49.4%	20.5%	9.2%	11.3%	18.4%	6.9%	4.7%
2016年	406,912	49.0%	21.0%	9.4%	11.5%	18.6%	6.8%	4.6%
2017年	412,526	47.8%	21.8%	10.0%	11.8%	18.7%	6.6%	5.1%
2018年	419,108	46.8%	21.9%	10.4%	11.5%	19.1%	6.9%	5.3%
2019年	419,059	45.4%	21.6%	10.6%	11.0%	20.7%	7.1%	5.2%
2020年	427,147	43.5%	21.4%	11.0%	10.4%	22.7%	7.3%	5.2%
2021年	402,056	41.4%	22.3%	13.2%	9.1%	24.8%	7.3%	4.3%
2022年	397,504	41.1%	24.0%	14.3%	9.7%	24.3%	6.9%	3.7%

※『大学の真の実力 情報公開BOOK』(旺文社)のデータにより作成。

※一般選抜=大学独自入試と共通テスト利用入試(過年度はセンター試験利用入試)。 ※総合型選抜=過年度はAO入試。

※その他=大学の入試分類により、社会人入試、外国人対象の入試など。スポーツ推薦などを含む場合があるため、総合型・学校推薦型の割合は低めに出る傾向がある。

※有効回答大学・学部数: 2015年=458大学1,377学部/2016年=476大学1,431学部/2017年=479大学1,475学部/2018年=477大学1,507学部/2019年=479大学1,532学部/2020年=491大学1,577学部/2021年=475大学1,547学部/2022年=480大学1,543学部。

※大学により、入試方式別の入学者数の回答に際して「公募制と指定校制の合算で回答」「指定校制と付属校・系列校は非公表」などのケースがある。「入学者総数」と「入試方式別の入学者数の合計」が一致しない場合、入試方式別の明細がない場合は、集計から除いている。

※2021年入試改革を機に、従来の公募制推薦を総合型選抜に変更する大学が少なくなかったため、総合型選抜と公募制推薦は合算で示した。

「総合型+学校推薦型」について見ると、2021年は、コロナ禍の影響で志願者が減少したが、合格者増で、入学者の割合は前年より3.0ポイントもアップして54.4%に。2022年はコロナ対応が社会で進み環境が整ったことや前年の易化もあり、志願者4%増、合格者12%増(弊社調べ)。総合型・学校推薦型の両選抜での入学者は増え、図表6に示した通り、2022年集計は前年より0.8ポイントアップの55.2%(総合型+公募制、指定校制、付属校・系列校の合計)となった。

2023年入試でも、総合型・学校推薦型への志向は、受験生や保護者の安全志向と相まって継続が見込まれる。

一般選抜は志願者数こそ多いが、実際の入学者の割合を見ると、私立大学進学へのメインストリームは全体としては既に、総合型・学校推薦型となっている。今後、受験生数の減少が想定されるなか、大学にとっては、各入試方式別の入学者のバランスをどのようにとっていくか、さらには入学者をいかに確保していくかが引き続き課題となる。

(2022.9 加納)

次ページに「2022年私立大学一般選抜 志願者数上位100校の一覧」を掲載

■2022年 私立大学 一般選抜(独自+共テ)志願者数の順位別シェア(延べ数=併願あり)

旺文社 教育情報センター2022.9

◆私立大学 一般選抜 志願者数

2022年志願者	2021年志願者	増減(人)
3,221,317	3,225,246	
* 548大学	* 552大学	
10位まで	10位まで	
1,025,480	956,097	69,383
31.8%	29.6%	
20位まで	20位まで	
1,506,774	1,426,627	80,147
46.8%	44.2%	
30位まで	30位まで	
1,816,935	1,739,085	77,850
56.4%	53.9%	
40位まで	40位まで	
2,025,566	1,956,190	69,376
62.9%	60.7%	
50位まで	50位まで	
2,199,171	2,130,067	69,104
68.3%	66.0%	
100位まで	100位まで	
2,703,872	2,647,172	56,700
83.9%	82.1%	
200位まで	200位まで	
3,053,079	3,024,787	28,292
94.8%	93.8%	

※下段の%は私立大学一般選抜の志願者合計数(判明分)に対する割合。

◆2022年 一般選抜 志願者数上位100校(単位:人)

順位	<1位~30位>	志願者数	前年順位
1	近畿大	157,434	1
2	千葉工業大	139,074	2
3	法政大	108,343	6
4	明治大	102,426	3
5	東洋大	98,276	7
6	早稲田大	93,843	5
7	日本大	93,770	4
8	立命館大	88,335	8
9	関西大	79,184	9
10	中央大	64,795	10
11	立教大	62,646	11
12	龍谷大	55,880	12
13	東京理科大	53,752	13
14	青山学院大	47,839	19
15	専修大	46,547	14
16	同志社大	45,854	15
17	東海大	45,821	16
18	福岡大	44,722	17
19	名城大	39,496	22
20	関西学院大	38,737	23
21	慶應義塾大	37,894	21
22	芝浦工業大	37,866	20
23	京都産業大	37,735	18
24	神奈川大	30,025	32
25	中京大	29,758	25
26	武蔵野大	29,459	24
27	駒澤大	29,201	26
28	東京電機大	28,395	28
29	帝京大	26,384	27
30	南山大	23,444	35

順位	<31位~65位>	志願者数	前年順位
31	東京都市大	23,276	29
32	上智大	22,503	30
33	東京農業大	21,894	34
34	國學院大	21,533	39
35	工学院大	21,247	40
36	摂南大	20,075	31
37	愛知大	20,014	41
38	明治学院大	19,629	38
39	成蹊大	19,475	42
40	追手門学院大	18,985	48
41	大東文化大	18,933	33
42	愛知学院大	18,800	36
43	獨協大	18,499	51
44	九州産業大	18,213	45
45	西南学院大	17,635	46
46	武蔵大	17,565	56
47	学習院大	16,621	47
48	神戸学院大	16,359	43
49	成城大	15,696	58
50	大阪工業大	15,284	55
51	常葉大	15,211	44
52	京都橋大	15,160	57
53	甲南大	14,662	53
54	東京工科大	14,286	54
55	明星大	13,719	37
56	国士舘大	13,119	61
57	大和大	13,089	73
58	東北学院大	13,010	76
59	関東学院大	12,862	49
60	大阪経済法科大	12,664	121
61	桜美林大	12,651	50
62	文教大	12,625	52
63	北里大	12,566	65
64	国際医療福祉大	12,403	62
65	順天堂大	12,357	70

順位	<66位~100位>	志願者数	前年順位
66	愛知工業大	12,122	59
67	麗澤大	12,079	127
68	立正大	11,854	63
69	大阪経済大	11,103	68
70	中部大	11,099	60
71	杏林大	11,041	69
72	大阪産業大	10,799	67
73	愛知淑徳大	10,187	64
74	日本女子大	10,048	80
75	福岡工業大	10,021	72
76	武庫川女子大	9,675	71
77	昭和女子大	9,608	75
78	東京経済大	9,521	78
79	名古屋外国語大	9,124	66
80	東京女子大	8,842	93
81	広島修道大	8,818	74
82	佛教大	8,708	87
83	名古屋学院大	8,653	84
84	東邦大	8,442	77
85	久留米大	8,428	79
86	金沢工業大	7,628	83
87	神奈川工科大	7,618	81
88	北海道科学大	7,421	95
89	岡山理科大	7,308	88
90	北海学園大	7,207	99
91	藤田医科大	7,160	90
92	亜細亜大	7,157	85
93	桃山学院大	7,096	82
94	昭和大	6,743	92
95	多摩美術大	6,726	109
96	同志社女子大	6,625	94
97	武蔵野美術大	6,460	105
98	大同大	6,411	86
99	松山大	6,361	106
100	畿央大	6,224	122

<備考>

※一般選抜(独自+共テ)志願者数判明分(旺文社調査:7月末現在)。

※特別入試等の志願者数を一般選抜の志願者に含む大学は除く。

※非公表の学部・学科、入試方式等がある大学は除く。

©obunsha2022